

《音楽科指導についてのアンケート》集計表

アンケート回答校数：	小学校 215校	中学校 90校
	小中学校 4校	盲、ろう、養護学校 4校

1 校内音楽会（小学校）、文化祭（中学校）について

(1) 期 日

<小学校>

5月 1日 (土) 1校	7月 17日 (土) 1校	10月 28日 (木) 7校
6月 11日 (金) 1校	9月 5日 (日) 1校	29日 (金) 21校
18日 (金) 8校	17日 (金) 1校	30日 (土) 11校
19日 (土) 1校	10月 2日 (土) 1校	31日 (日) 1校
23日 (水) 3校	9日 (土) 1校	11月 2日 (火) 4校
24日 (木) 4校	13日 (水) 1校	5日 (金) 2校
25日 (金) 43校	15日 (金) 2校	6日 (土) 1校
26日 (土) 9校	16日 (土) 2校	11日 (木) 2校
30日 (水) 12校	17日 (日) 1校	12日 (金) 3校
7月 1日 (木) 2校	20日 (水) 2校	14日 (日) 1校
2日 (金) 31校	21日 (木) 3校	26日 (金) 1校
3日 (土) 5校	22日 (金) 14校	1月 26日 (水) 1校
7日 (水) 1校	23日 (土) 4校	2月 17日 (木) 1校
9日 (金) 1校	27日 (水) 16校	3月 2日 (水) 1校

<中学校>

7月 17日 (土) 1校	9月 26日 (日) 7校	10月 26日 (火) 1校
9月 16日 (木) 2校	10月 1日 (金) 5校	29日 (金) 1校
17日 (金) 4校	2日 (土) 29校	30日 (土) 1校
18日 (土) 5校	8日 (金) 1校	11月 5日 (金) 1校
20日 (月) 1校	9日 (土) 2校	12月 22日 (水) 1校
24日 (金) 2校	16日 (土) 1校	
25日 (土) 36校	22日 (金) 1校	

(2) 会 場

① 体育館	小学校 220校	② 文化会館等のホール	小学校 6校
	中学校 86校 養護学校 2校 小中学校 1校		中学校 8校

(3) 中学校

① コンクールとして実施	は い 51校	コンクール形式ではない(発表会として) 47校
② 文化祭の中で実施	は い 83校	文化祭とは別に期日を設定している 7校

2 音楽集会についてご記入ください。

(1) 年間の実施回数

① 月1回実施	小学校 42校	② 月2回・隔週実施	小学校 93校
	中学校 48校		中学校 13校
③ 月3回実施	小学校 6校	④ 毎週実施	小学校 40校

	中学校	0校		中学校	5校
⑤ 学期に1回実施	小学校	1校	⑥ その他	小学校	49校
	中学校	4校		中学校	25校

(2) 時間 (入退場を除いて)

① 10分間	小学校	17校	② 15分間	小学校	165校
	中学校	11校		中学校	28校
③ 20分間	小学校	24校	④ 30分間	小学校	0校
	中学校	20校		中学校	5校
⑤ 40分間	小学校	0校	⑥ 45分間	小学校	3校
	中学校	3校		中学校	3校
⑦ その他	小学校	7校			
	中学校	10校			

(3) 選曲等内容

①年間計画を立てて行う	小学校	131校	②1回ごとに計画する	小学校	79校
	中学校	46校		中学校	39校
③その他	小学校	1校			
	中学校	0校			

3 音楽づくり (小学校)、創作 (中学校) の実施についてご記入ください。

① 教科書の教材で実施している

学年	題材名 (曲名)	実施学校数
小1	おむすびころりん	7
	おとあそび・すきな音をみつけよう	22
	おちば	11
	ことばあそび	34
	せいじゃのこうしん	1
	たぬきのたいこ	1
	まねっこあそび	3
	リズム創作	3
	ぶんぶんぶん	1
	かたつむり	1
	たんとたたのリズム	2
	リズムあそび	10
	リズム問答	1
	きれいな音でふきましょう	1
	バスバスはしる	5
	みつばちのぼうけん	2
	手遊び歌	1
	うたでさんぽ	1
	ぞうさんのさんぽ	1
	どんぐりさんのおうち	2
はる なつ あき ふゆ	1	
きらきらぼし	1	
おんがくにあわせてからだをうごかしましょう	1	

学年	題材名（曲名）	実施学校数
小2	かぼちゃ	2 5
	いい音みつけてあそぼう、おとさがし	1 4
	ぷっかりくじら	4 4
	リズム遊び、リズム伴奏創作	5 0
	ドレミあそび、どれみまねっこ	9
	山のポルカ	1
	創作リズム（みこしだわっしょい）	1
	おはやしづくり	3
	虫の声	4
	ドレミのうた	2
	リズム問答	1
	手遊び歌	2
	音を選んでメロディー作り	1
	手作り楽器で工夫しよう	1
	ないた赤おに	2
	おまつり	3
	えがおできょうも	1
	終わりのふしの音を選ぼう	1
	このはのゆうびん	1

学年	題材名（曲名）	実施学校数
小3	音のリレー	1
	おかしのすきな魔法使い	8 4
	海風きって	5 0
	3つの音を組み合わせる	1
	かさじぞう	1 5
	リコーダーふし作り・ふし遊び	9
	きょうりゅうとチャチャチャ	1
	音作り・音集め	3
	山ねこバンガロー	1
	ゆかいな木きん	5
	パフ	1
	かりかりわたれ	5
	ふしあそび	1
	リズム作り	4
	きょうりゅうとチャチャチャ	4
	メロディー作り	2
	ビリーブ	1

学年	題材名（曲名）	実施学校数
小4	音のカーニバル	5 7
	歌のにじ	5 0
	音の組み合わせを工夫して演奏しましょう	1
	つるの恩返し	1 9
	こきりこぶし	2 0

いろいろな木の実	2 1
音集め	1 1
おはやし創作	3
リズム伴奏作り	4
とんび	1
冬の歌	1 6
茶色の小びん	4
リズムと音あわせ	4
ふし作りをしよう	6
郷土の音楽	1
歌と楽器の響きをあわせよう	1
短い文章にリズムをつけよう	2
さくらさくらの発展	1
ビリーブ	1

学年	題材名（曲名）	実施学校数
小5	おはやし作り	1 2 2
	自分の気持ちを曲で表そう	2 1
	曲想を感じ取ろう	2
	静かに眠れ	5 3
	リズム作り・リズム伴奏作り	7
	ことばを曲に	1
	キリマンジャロ・威風堂々（リズムの工夫）	1
	ケチャ作り	2
	走れメロス	9
	私はぶんぶん怒っている、眠くて瞼がくつつきそう	1
	作曲してみよう メロディ（歌作り）	3
	アイネクライネナハトムジーク	1
	オルフのリズムロンド	1
	思い出を曲に表そう	1
	威風堂々	1
	2種類のリズムを2種類の楽器で演奏しよう	1
	こいのぼり	1
	和音の学習から発展させて	1
	翼をください	1
秋にさよなら	1	

学年	題材名（曲名）	実施学校数
小6	思い出の曲をつくろう	6 9
	アフリカのリズム作り	1
	アンデスの祭り	5
	曲をアレンジしよう	1
	銀河鉄道の夜	7
	静かにねむれ	1
	6年間の思い出	5
	越天楽今様（腰矢楽今様）	5
	ラバースコンチェルト	1 4
	リズム創作・リズム伴奏作り	3

総合的に行う（グループ創作）	2
心をこめて演奏しよう	2
風をきって	1
作曲、歌詞にメロディーをつけよう	6
木星	1
メヌエット	1
星の世界	1
ボディーパーカッション	1
おはやし作り	1
日本の音楽を味わおう	2
星空はいつも	2
アンデスの祭り	1

学年	題材名（曲名）	実施学校数
中1	赤とんぼ	1
	こげよマイケル	4
	リズム作り	1 1
	作曲をしよう（メロディー創作）	8
	アルトリコーダー「キラキラ星に合う二重奏を作ろう」	1
	野菜の気持ち	2
	リズム伴奏を作ろう または 変奏曲を作ろう	2
	リズム遊び、簡単な音つなぎ等	1
	リズムアンサンブル	1
	打楽器のための小品	1

学年	題材名（曲名）	実施学校数
中2	リズム楽器で楽しもう	5
	リズム作り、即興リズム	6
	コマーシャルソング作り	1
	テキーラ	2
	日本の音楽をつくろう	1
	リズム遊び、簡単な音つなぎ等	2
	カリンカ	1
	さくらさくら	1
	鑑賞「動物謝肉祭」のあと動物をテーマにした創作を8小節作る	1
	ラバースコンチェルト	1
	メロディー創作	1
	琴を使って旋律を作ろう	1
	ベートーヴェン交響曲第5番	1

学年	題材名（曲名）	実施学校数
中3	自由への讃歌	2
	アドリブを楽しもう	4
	コマーシャルソング作り	1
	若者たち	1
	リズム遊び、簡単な音つなぎ等	1
	詩に旋律をつけよう（メロディー創作）	7

リズム創作	3
地域をテーマにした創作	1
エーデルワイス	1
花	1
作曲をしよう	1

② 教科書以外で題材を開発した
学年と内容の要点を記入してください

学校名	学年	題材名（曲名）
筑摩小	3年 4年 5年	音楽会発表曲（リコーダー）とつなげて わらべうたづくり こびとの音 リズム、伴奏作り 米作りと関わらせて、コマーシャルソング作り
明善小	4～6年	目指せソングライター作詞編、作曲編 言葉をつなぎ合わせて作詞ができていく教材。順次進行を基本にメロディを作っていく教材を考案し、使用している。
本郷小		3、4年はリズムを中心に、5、6年はト長調のソラシの3つの音で4～8小節のうち、4小節を創作する。
田川小		リズムボイスを作ろう
島内小	5年	昨年の教育課程研究で、本校の高木先生が、リズムボードの教材を開発されました。今年、その教材を学校用として、8部作成し、定期的にリズム学習、あそびで使用しています。
木島平小	全校	青い目の人形を題材として（児童作詞、職員作曲予定）
中野小	5年	中山晋平作曲コンクール
延徳小	5、6	中山晋平作曲コンクール
高丘小	5、6	中山晋平記念音楽賞、夏休みの自由課題
日野小	5年	中山晋平記念音楽賞
山ノ内東小	高学年	友達や自分の詩にメロディをつける活動
倭小	1、2	リトミックを取り入れてやっている
野沢温泉小	低	リトミックを取り入れた身体表現
信州新町小	5年	「ます」グループアンサンブルでリズムや和音をアレンジし、自分たちの願うますの表現を追求する（和音と低音の学習）
古里小		他校の授業等をヒントに自分なりにアレンジして行っている。
篠ノ井西小	4 5 6年	簡単な詩に対するふし作り
芋井小	5年	児童の詩に合わせた音作り
東条小		リズム遊びとして音符に合わせて歩いたり、走ったり、スキップしたりする。言葉遊びとしてリズムにつけた言葉を手拍子と共に言ってリレーしていく。リコーダーで思いつくメロディを作っていく など。
青木島小		音の長さや拍数からリズム創作をさせ、そこに音をつけて曲を完成させる。
浅川小	5年	変奏曲 「ます」「キラキラ星」などを聞いて自分の変奏曲作りをする。
西小	小3 小6	「聖アントニーのコラール」（ト長調）リコーダー3重奏（難易度に合わせてパート分け） ベートーベンの「運命」4楽章の合奏は、ハ長調で拍がとりやすく、和音I IV Vが多く、ハーモニーも重厚で早く音がとれて感動的に仕上がります。
傍陽小	小1～	リズム中心

	4 小5 6	メロディーとリズム
和小	小4 小5 小6	長調の曲（8小節） シンコペーションのリズム（8小節） 短調の曲（8小節）
北小学校	小5 6	アンサンブルを楽しもう アニメの曲をもとにグループアンサンブルをする
塩尻小	小6	お気に入りのスポットやお店などを題材にしたコマーシャルソング作り
清明小	小3 小4 小5 小6	リズム創作 モチーフ作り 4小節程度 8小節程度
豊殿小	小2 小3 4 5	続きのふし作り 短いことばに曲をつけて歌う
中塩田小	小4 小5	少年時代（リコーダー） パッヘルベルのカノン（リコーダー）
神川小		“〇〇なもの3拍子” “〇〇へ行こう” 3拍子の中に、好きなもの・夢・キャンプにもっていきたいもの等をリズムよく入れリレーする
喬木第二小	4～6	記譜の仕方・メロディー・リズムづくり I IV V (V 7) I の4小節ふしづくり
松川東小	3・4	身近なもの（自然の中のもの）で音楽づくり グループでテーマを設定しそれにあうリズム材料を使い音楽づくり
阿智第一小	3年 6年	リコーダーで「ソラシ」を使った音あそび 俳句・川柳に合わせた曲作り
	1～4	リズムにあったことば集め、それを組み合わせた曲（リズム）作り
竜江小	6年	短歌づくり→リズムづくり→ふしづくり
上村小	3～6年	雑誌「教育音楽」の連載の実践例やセンター研修でまなんだもの
山本小	4年	「冬」ではじまる短い文章を作り4分の4拍子2小節のリズムをつける活動
	5年	自分のたたきたい楽器を2種類選びその楽器に合うリズムを4分の4拍子で4小節考える
売木小中	中3	青島幸男さんのDVDで作曲のノウハウをみて理解した後国語で作った俳句（テーマ「夏休み」）にふしをつけてそれを全員分つなげて1曲にする
平谷小中	4～6年	中山晋平記念音楽賞への作曲応募に向けて 曲作りを挑戦してみたいと思っている。（出すことに意義が）
須坂小	小6	リコーダーのふし作り（和音を設定し、友だちとアンサンブルをしやすくする。）
高山小	小5	ワークブック「おはやし作り」と4年の時に作ったリズムに音をつける。
高山小	小6	ワークブック「つなげて、つなげて」リコーダーを使って2小節ずつの節を4人でつなげて1曲にする。
豊丘小		以前教科書にのっていた「動物の謝肉祭」の中から特色のあるものをいくつかピックアップしてグループ毎に特徴をもとにして、何の動物か書き出すということをした。
本郷小	1.2.3	オペレッタの中の効果音作り
神明小	3	リコーダーで簡単なふし作り
泉野小	1	鍵盤ハーモニカで音作り

泉野小	3	リコーダーで鳥の声作り
泉野小	6	6年生の思いを歌の曲として作曲（歌詞作り、曲作り）
泉野小	全	各学年の生活科や総合的な学習に関わって、音楽表現の一つとして創作すること
湖南小	2～6	リズム作り。2音から3音のふし作り。
境小	3	「君もベートーヴェン！ソラシを使って作曲してみよう」リコーダーのソ・ラ・シを学習した所で「シシソー」を導入に他のリズムでソ・ラ・シを使ってふし作りをする。
富士見小	6	リズムアンサンブル（グループ）
大町北小		クラス毎、歌集リクエスト形式を取り入れて導入部として扱う。
大町南小	3 4 5	金管楽器 木管楽器 弦楽器 } 「ピーターとおおかみ」「動物の謝肉祭」
立科小	2～6 5, 6	リズムカレンダー 曲の続きを作曲しよう～続く感じ、終わる感じ～
平根小	4	ことばに合うリズム創作2小節
坂の上小	6	「思い出の曲を作ろう」を参考に、歌詞にメロディーをつける。」
軽井沢西部小	5, 6	リコーダーを使い即興的なふし作り（短いフレーズ）
辰野東小		リコーダーを使った音しりとり（3度音程のふしづくり） パターンミュージック
箕輪北小	3年	ほたるこいでリコーダー
富県小	3年	泣いた赤鬼（オリジナルの曲）で場面の音作り
筑摩野中		器楽をやるときに、その楽器を使って音をだしながら、1年生は、4小節（リズムは4分音符のみ）2年生はリズム創作、3年生は8小節（リズムメロディ）短い旋律を書く。
菅野中	1年 2年 3年	魔王を題材とした音楽劇作り カリンカを使って即興リズム演奏 二部形式の曲作り（作曲）
旭町中	1年 2年 3年	ボディーパーカッション 調性をふまえたリコーダーでのメロディ作り コードネームを使ったハーモニー作り
清水中	全校	生命のいぶき リコーダー奏
鉢盛中	1年 2年	箏を使った作曲 2パートを重ねたリズム創作
附属松本中	3年	自由への讃歌の1部分（D→Gコード）に副旋律をつけて、アドリブとする。
松本ろう	小学部 1.5年 中学部 1.2年	和太鼓、手あそび、リズムあそびを取り入れた歌 普通科生と合同 箏の調弦、弾き方、混声2, 3部合唱曲
東北中	2年	4小節のまとまりのある曲を作る
川中島中	3年	形式に合わせて曲を創ろう
川中島中	2年	旋律作りをしよう
西部中	1～3年	順次進行で始まる楽譜上の遊び
鬼無里中	1, 2年	リズム創作
鬼無里中	3年	作曲をしよう
戸隠中	1年 2年 3年	リズム創作 箏の即興演奏 旋律作り
両小野中		リコーダーを使い、まず4小節から。2小節こちらで作り終わる感じに作

		る。次に8小節にして、続く感じ、終わる感じと指示して作ってみる。
塩尻西部中	1年 2年 3年	5拍子のリズム 声を合わせて（前奏と後奏の編曲） 器楽アンサンブル（パーツの組み合わせ）
和田中	中2 3	読譜指導と合わせて、リズム創作→音程をつけて創作 というように段階を追って行っている
第六中	中2	「世界の民族音楽」の中でケチャリズムを使って創作をしている
飯田養護	1～6	手遊び歌の本 インターネットから手遊び・リズムあそび・パネルシアター・ダンスなど
竜東中	1年	リズムをつくる→言葉を考える→抑揚をつけてメロディー（歌）にする
泰阜中		学校で短歌（俳句）づくりが盛んなのでそれを短い曲にしている
阿南第二中		「野菜の気持ち」を使いボイスリズムの曲を作る
福島中	1年	4拍子を基本に、2小節の短いリズムを作ってメロディーをつくる。
南木曾中	3年	戦後の日本を舞台としたジャズ音楽映画の鑑賞
相森中		和楽器など教育テレビで楽しく、わかりやすく放送されたものを全学年で使用。この先も授業で使用していく予定。
墨坂中	1～3	リコーダー学習とともにハーモニーを作って楽しんでいる。
東中		まだやっていませんが、4小節程度のリズム譜によるリズムだけの創作をしたいと思います。読譜指導の延長上に創作活動を取り入れようと思います。
茅野東部中		是非他の学校の実践をお聞きしたい。（教材研究が不十分なので。）
富士見中		リズム・旋律の創作。（学年ごと制約がある）
永明中	1 2 3	リズム 旋律 作曲（歌詞つき）
城南中	1 2 3	リズム創作 日本音階を使つての創作 詩に旋律をつける創作
八坂中	1	和楽器（箏）を使った曲作り
第一中	1 2 3	リズムと拍 リズムとことば 和音をもとに作曲
美麻中	1 2 3	リズム創作 リズム創作→ふしをつける（順次進行、終止形） 形式を指定してふし作り（終止形、二部形式）
佐久中	各学年	指導の先生もお願いして、オリジナルの曲を作る。
軽井沢中	1 2, 3	メロディーしりとり（ド○○レ/レ○○ミ/み○○ファ/ファ○○ド） ○○にド～ソの音を入れ、グループでつなげて演奏する。 和声進行を使って（和音の構成音を使って音を選び、メロディーを作る。順次進行を使う。）
望月中	1 2 3	音符の数を設定 4小節の作曲 音符の数を設定 8小節の作曲 音符の数を設定 二部形式を教えて16小節の作曲
南箕輪中		リズムカードを作る。ものさしで長さを測りながら作る。
飯島中	2, 3	8小節、ハ長調、単旋律のメロディーを作ろう
辰野中	1 1～3	リコーダーによる即興 文化祭の曲づくり

春富中	2	食いしん坊のラップ→言葉でリズムを楽しむ
	1	メリーさんの羊を使って、諸要素の働きを知り、楽しむ

4 鑑賞学習の実施についてご記入ください。

(1) 指導の工夫によって子どものよい姿がみられた事例を具体的にご紹介ください。

学校名	学年	事 例 (曲 名)
明善小		作曲者や曲にまつわるエピソードなどを紹介し、鑑賞曲を印象づける工夫をすることで子どもたちは興味を持って聴くようになる。テーマのモチーフを覚えさせるために歌ったり、リコーダーで吹いたりすると教材が定着する。
源地小	4年 6年	あいのあいさつ、ピチカートポルカ、陽気な船長の演奏と関連づけて。世界の国々の音楽、日本の音楽、越天楽今様と関連づけて。威風堂々グループアンサンブルの工夫と関連づける。ディズニーのファンタジアを見て、音楽とイメージをはっきりさせる。
田川小		曲名をふせておき、どんな音が聞こえてくるか、あてさせたり、何を表現しているのか、考えさせたりするとよく集中して曲の特徴を聴き取りやすいし、低学年は曲に合わせて身体表現。
島内小		感想を書かせるとき、楽しい感じ、おもしろい感じという具合に簡単に書こうとする子どもたちを少しでも減らすために、テンポ、強弱、楽器の音色に注目して書こう！と声かけをするようにしました。聴く観点がはっきりして、書き込みやすくなったと思います。 なるべく実際に使われている楽器を用意してさわってもらっています。
中野小	高学年 2年	クイズ形式「どこの国の音楽でしょう？」(世界の音楽) 「おどる何?ねこ?ぞう?くま?」(2年おどるこねこ)
延徳小	全学年	DVDの活用・・・映像が手に入るものは、できるだけ映像で鑑賞する。楽器の名前だけでなく、その形、演奏の仕方にも興味を持って鑑賞できた。自分も演奏してみたいと思った児童がいた。
高丘小	5, 6	「世界の国々の音楽」「アジアの国の音楽」 地図、国名、楽器名を示し、グループで音楽の感じからどこの国の音楽か考えさせた。旋律の感じなどから意見を出し合い、楽しみながらそれぞれの音楽の良さを味わえたと思う。
日野小	1年 高学年	動物シリーズとして、動物に関する曲を聴き、クイズ形式で鑑賞。 「郷土の音楽」(4年)「アジアの音楽」(5年)「世界の音楽」(6年)どの国や地域の音楽か当てる。
山ノ内北小	2年	トルコ行進曲、メヌエット・・・鑑賞しながら、履くうちや動く活動をした後、作曲者について説明した。音楽室の肖像画に興味を持って、伝記を調べる児童もいた。
長丘小	1, 2	音楽に合わせて体を動かす。→良い動きをしている児童を紹介。→全員でやってみる。→クラス全体が体を動かしながら、リズムをつかめた。
山ノ内東小	4年	こきりこ・・・実際の楽器を体験しながら金太ことにより興味を持てた。
科野小	中学年	2択の問題を設けることで、曲の感じがとらえやすくなった。
倭小		「音楽の世界に入ってみよう」と問いかけ、目に見えた情景(?)等を発言。
野沢温泉小		指揮者になったつもりで、はくを感じながら表現。
信州新町小		「おどる子ねこ」好きな場面を子どもたちに絵を描かせると、曲の構成が見えて、低学年でも場面展開に気づくことができる。 「旧友」動唱表現で2つの旋律を、友達の表現を目で見て聴き取る事が

		できるようになる。
豊野東小	3年	「ハックルベリーフィンの冒険」物語の場面を考え、全員で作り上げていく活動は、子どもたちが大好きです。
中条小		音楽会で他学年が扱った曲を鑑賞したら、興味深く聴く姿が見られました。
城山小	5年	アジアの曲でケチャをクラスみんなでやってみたところ、リーダーの合図でリズムを変えたりするところで、とても楽しそうに取り組んでいた。
湯谷小		曲の構造を分析し、その曲で聞き取ってほしい事項を1つに絞って授業を進めたときに、子どもたちから驚きの声上がり、深めることができた。
信里小		今年度より備品でDVDを購入し、興味深く見ている様子がある。
七二会小		身体表現を取り入れることで、楽しみながら鑑賞できる子が増えた。
篠ノ井東小	2年	「口ぶえふきと小犬」口ぶえふきや、小犬になった気分で、身体表現をした。
昭和小		はずむ感じ、なめらかな感じの対比のある楽曲については、動唱表現で音楽を感じられた。
通明小		音楽会で演奏できた曲。「威風堂々」「剣の舞」「木星」
古里小		「木星」テーマに入る前の部分を聴かせ、イメージを書かせる。
山王小	6年	地域との連携で善光寺雅楽を鑑賞している。雅楽体験もでき、毎年良い笑顔でしっかりとした鑑賞ができています。3～5年が教科書教材で創作したものを、3学期に校内で公開し、鑑賞してもらっている。クラスごとの工夫が見られ、1・2年生にも好評。
篠ノ井西小		静かに目をつむる→集中して聴く→動唱表現という学習をドリル的に行い、心で音楽を感じ取る意識が身についてきた。
芋井小		金管・木管の鑑賞において、音から受けたイメージを絵にさせたところ、表現しやすかったようで、そこから楽器の特徴に触れることができた。
東条小		「ピーターとおおかみ」の人形劇+演奏のDVDを用いて、楽器の名前や音色を学習。楽しみながら学ぶことができた。
更府小	5年	「こきりこぶし」で個人もちの締め太鼓でリズム伴奏をさせた。
浅川小		聴く前に、聴くポイントとなることについて話をしておく。
安茂里小	2年生	立たせて、目を閉じて、音楽に合わせて指揮をふる学習をした。「音楽の世界に行ってきた!」と言って、その音楽にひたる姿がみられた。
三輪小		聴く観点を明確にして学習カードに記入させる。
洗馬小	6年	いろいろな国の音楽をクイズ形式のようにして鑑賞したら、興味をもって聴くことができた。
塩尻西小		曲名あてなど、クイズ形式にすると集中して聴くことができるように思う。
片丘小	各学年	曲に関するクイズを入れたり、楽器の写真や映像で演奏の様子を見せたりすると、興味をもって聴くことができるかなと思う。
本城小		動唱（身体表現）を取り入れて、友だちの表現を見合う中で、お互いの良さに気づいたり、音楽に浸って集中して聴くことができた。音楽に苦手意識を持つ子も意欲的に取り組むことができた。
坂井小		クイズ形式、想像させるなどしたら、とても今日から
坂北小		クイズ形式にした鑑賞は、集中して聴くことが多い。(6年：世界の国々の音楽)
滋野小		動唱表現や鑑賞カードの工夫、音楽会で鑑賞曲を合奏で扱ったりする。クイズ形式、魅力的な曲だと聴くだけでとても喜んでいきます。
西小	小5年	アジア音楽の学習で、LD（又はDVD）を見て楽しんだ後、ケチャやガムラン音楽の基本的なしくみをリズムや唱えで合わせると楽しめた。
田中小		ハックルベリーフィン（主人公がどんな冒険をしたか、お話づくりをす

		ると、音楽を一生懸命聴き、その様子を思い浮かべ聴く)
傍陽小	5年 2年	アジアの音楽では、ケチャできこえる声を聴き取って再現してみると大変盛り上がりました。 口笛ふきと子犬では、僕と犬と出かける様子をおはなしをつくってみました。友だちの話に、どんどん繋げて曲に合わせて話をふくらませてみました。
和小		木星：メロディオンで演奏、メインの所を聴かせ、想像をふくらませる、平原綾香さんが歌っているものを一緒に歌う。
塩川小		・指揮など身体表現を加えて聴く。 ・聴く観点をしばって聴く ・曲あて
北小		こいのぼりの ♪ のリズムが何回でてくるのか調べる。♪ のリズムを ♪ で歌ったこいのぼりと比べた
塩尻小		クイズ形式にして曲名や楽器名等を想像させたり考えさせたりしながら、曲の構成要素や音色の特徴などに目を向けさせていく。
丸子北小		感想でなく質問形式にする 「つるぎのまい」ってどんなおどりだろう 「木星」のある宇宙は、どんなところだろう
清明小	小4 小5 小6	日本民謡めぐり 各地の民謡を「民謡らしさの音楽要素」に注目した鑑賞 生活に根ざした楽曲開発 「朝（パールギュント組曲）」地域の朝の音楽比較鑑賞 「木星」 2つのオケによる比較
川西小		教師の指導で「つるぎのまい」をピアノ演奏した。そのことで子ども達がよりこの曲を身近に感じて好きになった。
長小	小5	「アジアの音楽に親しもう」でケチャを鑑賞した際、実際に「ちゃ」がつく言葉を組み合わせてケチャをつくってみるという活動の後で、もう一度ケチャを鑑賞したら、始めは「訳がわからない」「ただ叫んでいるだけ」「つまらない」という感想を持っていた子供だったが、「ちゃがたくさん重なってすごい」「重なりがおもしろい」という感想を持った。音楽の構造や言葉の重なりに体験を交えたことで気づけた。
青木小	小5	ロンド形式 ボールをまわしながらAテーマの子が立つB・Cの子は座っている。曲が終わると立っている子の様子でA-B-A-C-Aがわかる。
中塩田小	小4 5 6	高学年は有名な作曲家の顔とエピソードを紹介しながら代表的な曲をきかせ、口ずさめる程度に覚えさせていく。校内での放送にもつかっていく。
武石小		第一印象をひとこと出し合い、なぜそう感じたのか理由を考え合う（聴き合う）活動を通して音楽要素に気づいていった。
神川小		マイベスト いくつか聴きたい曲の中から、マイベストを選んで、その曲について（どこが気に入った、どこの国の曲、何の楽器が使われているか）を書くとききやすいようだった。
北御牧小		音楽と演奏の様子をわけて、クイズ形式にしたら注意深く聴いた。
新野小		1時間で終わらせるのではなく、2週間続けておこなうとより曲のよさを実感できる姿がありました。
喬木第二小		教師の教材研究と聴き所をピンポイントでしっかり聴き取らせ自分の感じとったことを文章に表す ① 自分の思いが伝わる文章にしていく ② 友達のよさにきづく など

豊丘北小	2年生	「トルコ行進曲」「メヌエット」の拍子を体感しながらつかみ、次の「いるかはざんぶらこ」「山のポルカ」に入ったときに、曲をきいてすぐ確かめてみたいという姿がみられること。
根羽小		音楽鑑賞教室で東京オペラシンガーズのプロの演奏を鑑賞
松川北小		和楽器の学習で地元の演奏集団を呼んで演奏して頂いたり楽器の奏法など指導して頂くことで身近な楽器としてとらえることができた。
天龍小		曲名や曲の情感 使われている楽器など知らせずに曲を流すと、子どもたちの中から自由な発想や想像が多く出てくる。
松川東小		昨年オペラのDVDを鑑賞し、オペラに興味を持った子どもたちが今年度鑑賞音楽教室で東京オペラシンガーズのみなさんの演奏を聴き、より興味を持ち再びDVDで更に鑑賞しました。やはり子どもたちにとって生の演奏、音楽にふれる機会は重要だと感じました。
座光寺小		鑑賞した曲のイメージを絵に描いて、様子を発表しあった
高森南小	低学年	ダンスを作り踊った 「剣の舞」鑑賞後、思いうかぶ様子を話すと「剣の音がする。」と発見したことからもう一度耳を耳を澄まして聴き、シンバルの音があたっていることをとらえた。その後、主題をオルガンで練習。CDの速度に合わせて弾くと夢中になっていた。
下條小		「剣の舞」では、ある1つの楽器の2つの部分音はどんな様子、場面を想像できるなどあつかってみた。音楽要素を確認しながら学習できた。
泰阜小		2学期以降実施
清内路小		情景を思い浮かべるため、曲名を知らないまま絵を描いた。小さく聴こえてくる音にも気を配って様子や情景を想像していた。
三穂小	4・5年	ピッチカートポルカ・あいさつ・白鳥など弦楽器の演奏を実演していただく機会（目の前で具体的な奏法を実演）により音色に親しみが持てました。
松尾小		曲に合わせて体を動かしたり、決まったテーマに注目して鑑賞することで曲の構成に気づくことができた。
竜丘小		楽譜を見ながら「曲から感じたこと」のひみつをさぐった。日本の音楽では、できるだけ本物（箏など）にふれて音色をたのしむ
阿智第三小	3年	「ハックルベリー・フィン」曲の変化に合わせて冒険物語を考える活動感じたことを3年生なりに表現で表すことができた。
川路小	2年	楽器の音に注目させるために教科書の絵を見ながら聴き、楽器の名前と音色をつなげさせるように曲を止めながら何度も聴かせた。
山本小		曲を大きく3つくらいに分け、それぞれの部分での「強弱」「曲の感じ」「思い浮かんだ様子」「楽器の音」について書かせるようにした。また、書き方の例をあげておいた。（たとえば「曲の感じ」なら明るいくらいのしそう。こわそう、ゆかいなど）そのあとでそれぞれの部分についてきくと、自分の書いたことを言おうとする子がとても増えた。
阿智第二小	2年	イトーシステムによる動唱表現で音楽の美しさにせまる鑑賞をさせるとこどもの内面、心の感じ取りなどが見られ素直なよい表情・表現がみられた。それを歌唱に生かして歌うことができた。（「かっこう」教材で）
売木小中		ドリル的に毎時間最初の5分を使って小曲（2分程度）を鑑賞し、感想を書く活動を続けたところ、曲を聴いて感じたことを表すためのボキャブラリーが豊富になった。
平谷小中		音楽鑑賞教室前の事前学習としてオペラ「カルメン」の鑑賞をいれた。ストーリーと登場人物を把握していたのでより親しみを感じて鑑賞できた。
浪合小中		「魔王」の鑑賞で音楽の要素に着目させて聴くことができるように、登

		場人物のキャラクターを確認した上で、誰がどの部分を歌っているか推測させた。音の高さや短調・長調伴奏型に着目して聴くことができた。
三岳小	低学年	どんな場面が思い浮かんだかや、なぜそのように感じたか という発問により、集中して聴けた。音楽的要素にも着目できた。
木祖小		記録用紙の工夫で、より多くの気づきをかけるようになった。
南木曾小		音の高低や強弱によって、線の波を変化させていくと、最後まで集中した。聴いてほしいメロディーを覚えさせて、出てきた回数をチェックさせたら、よく聴けた。
上田小		場面がイメージしやすい曲を選び、主人公などを児童に知らせておいて、物語の内容を想像して言葉や絵にする活動をすることで、楽器の音色や要素にも着目できた。
須坂小	小3	「ハックルベリーフィン」 ・曲の変化を感じ取る・・・どうしてそう感じたか（音楽要素） ・物語を結びつける。（お話作り） ・曲に合わせた絵を描き、紙芝居のようにする。 子ども達が場面を想像したり音楽の要素を感じながら活動できた。
高山小		民謡のところで、歌詞の言葉（の意味）を聞き取るように。チャッキリ節（何が鳴いている）
日野小		同じ曲の比較鑑賞（「白鳥」をチェロ以外の弦楽器と比べ音色の違いを感じ取る。「運命」の冒頭の比較など）
井上小		曲想の違いを体で感じたりボールを使ったりフラフープを使ったりした。
豊丘小		音楽要素を挙げさせ→イメージや感じたことにつなげていく授業。要素がわかることで、イメージもふくらみ感想が書きやすくなったようだ。
本郷小	1～6	鑑賞教材は全曲、故伊藤温先生の提唱された動唱表現（音楽を心で感じて体で表す）を行っている。子ども達の感性が豊かになり、表現力が高まってきた。
長地小		鑑賞と表現をうまく組み合わせると子ども達は良さを実感できる。
城北小	5	ケチャの体験。簡単なパターンを作ってグループごと割り当て、全体で合わせる。けっこう盛り上がり、印象深く残るようだ。
豊平小		視覚教材、実物の提示は興味をひく
神明小		絵や物で表現した時、意欲的に取り組みました。
岡谷小		繰り返しについて学習する単元で（場面で）主な節に注目させたかったのでその節を鍵盤ハーモニカで吹かせたら、聴き取り方も、聴く観点も変わった。（剣の舞）
中洲小	3, 4	言語活動を大切にしたいので、お話を作ったり（3年ハックルベリーフィン）、どんな感じの音、音色だったか言葉で書かせている。
泉野小	3, 4	鑑賞曲で、楽譜に直接感じたことを線や印で書き込んでいき、演奏法についても興味を増したこと。 いろいろな楽器の演奏について、実際に子ども達が演奏を試したり、生の演奏を間近で聴く機会をもうけている。楽しみながら楽器に親しみ、音の魅力にふれた。
	4	「さくらさくら」の強弱増減において、バリトン歌手の歌唱を聴き、イメージと強弱の関係についてヒントを得た。
境小	6	世界の音楽ではなるべく映像資料も用意して見せる。 その中のゴスペルでは映画の場面（天使にラブソングを）を取り入れる事によって、そのあとの、こげよマイケルなどのイメージの持ち方や歌声に変化が見られた。
玉川小		・出てくる楽器に注目させたら、楽器の音色や音の聞き分けは比較的良く理解していた。

		・ただ感想を書くというのではなく、具体的にどの部分を聴かせたいかポイントをしばってみると、最後まで集中してきいたりじっくりと味わう姿が見られた。
田中小		教科書の「旧友」2つのふしの重なりをおさえる時、「ファランドール」を聴かせた。主なふしともう1つのふしがよりわかりやすかったようだ。
金沢小		身体表現しながら聴くのは低学年は大好き。中学年だと特徴的な楽器の音色やかけ声、詩の内容などテーマを与えて聴かせると繰り返しよく聴いている。
富士見小		どの学級（3年以上）も、毎回1曲聴いている。年間を通して多くの曲と出会うことで、鑑賞への意欲は高まっているようだ。
飯山小		木管・金管楽器の鑑賞では、本物の楽器を見せたり聴かせたりするとその音に注目して鑑賞できた。
北信小		授業ではないが、全講音楽の最後に毎回2～3名の児童に感想発表をしてもらおう。聴き合うことが声の出し方に多少なりともつながっていると感じる。
牟礼西小		DVDを鑑賞した後、簡単なケチャのリズムをつくって合唱してみた。
安曇養護		「剣の舞」…リボンを使って音楽に合わせて激しく踊ることができた。「動物の謝肉」…クイズ形式で楽しめた。動物の絵でイメージできた。
大町南小		「動物の謝肉」は多様な扱いができてよい。全14曲の動物の名前当て（題名想像で大変楽しく鑑賞できる）「はくちょう」を導入に。有名な曲「天国と地獄」「きらきらぼし」も入っているので、楽器の音やモチーフ、鳥の鳴き声の回数等、焦点化して扱える。
大町西小		鑑賞前にポイントを伝えたり、「後で〇〇聞くよ」とクイズ形式にすると、集中して聴くことができた。
小谷小		生演奏を聴かせると子どもたちの反応がよい。子どもが疑問に思ったことにもすぐ答えられる。
八坂小		鑑賞音楽会の前に全校で鑑賞の学習をし、意識を高める試みをしてきた。
大町北小		教科書の写真を見て、各々の児童が想像をふくらませて発表し、友だちの思いを考える。
青沼小	6	箏の講習会を2時間設け、少し弾けるようになってから鑑賞させた。（春の海）
岩村田小、浅科小		鑑賞曲を歌唱や器楽とつなげて扱ったとき、より深く聴くことができた。
千曲小		曲の情景がイメージできるような具体物やDVDを見せる。
立科小、千曲小		本物の楽器に触れさせる（箏、ヴァイオリン、尺八、三味線、笙） 尺八講習会（30本の尺八を持参いただき実際に吹く）
岸野小	3	「二人でおどりましょう」で、ヘンゼルとグレーテルのそれぞれの役を歌い合い、曲の雰囲気を感じることができた。
中込小		違う演奏団体の聴き比べ。1曲につき3団体位用意し、それぞれの良さを味わう。
箕輪東小		音色を限定して鑑賞してから、全体（合奏）を聴かせると、主題のメロディーや楽器を聴き取らせやすい。
富県小		音楽会で演奏した合奏を、オーケストラのCDで聴いた。自分たちが演奏したものに近かったので、より詳しく聴き取ることができた。
辰野東小	4	「音のカーニバル」で、同じ楽器でも奏法による音色の違いを感じた。子どもたちは弦楽器の奏法を取り上げた「愛のあいさつ」「ピチカートポルカ」の鑑賞に意欲的に取り組み、意見も活発に出た。同じ題材でも、配列によって違いがあると感じた。
奈川中	1年	魔王を実際に歌ってみた（こどもが）ら、役の人の声の変え方など理解したようだった。
菅野中		視聴覚教材の活用 他領域と関連づけた学習

旭町中		ポップスになっているものから導入することで、親近感が見られる。使っている楽器の解説や模型、実際に音が出せる類似なものなどを提示し触れることができるように興味を持たせた。オペラは声質に注目させ、自分の声と比べることで、興味も持たせた。
高綱中		プラズマテレビ（大型）が導入され、DVDでの鑑賞が効果的（生徒の集中力などで）となった。
山辺中	1年	映画音楽の曲、楽しんで想像力を広げた。
鎌田中		鑑賞した楽曲を表現につなげたときは、生き生きと取り組んでいる。 フーガト短調・・・主旋律のキーボード演奏 魔王・・・役割を決めて歌う アイーダ・・・凱行進行曲をリコーダーで合奏 箏の学習・・・さくらさくらの演奏 比較鑑賞「魔王」ノーマン、ホッター、キーンのパiano、スウィングガールズ 楽曲との出会いは、どの題材でも題材を伏せて、曲のイメージをふくらませるようにしている。
鉢盛中		同時代の絵画を見せながら鑑賞させました。時代と共に音楽も変わっていくことを感じさせる場面で有効だったと思います。
丸ノ内中	3年	器楽の中での鑑賞において 拡大楽譜を同じリズムの部分とかけ合い部分に切り離して分けてみたところ、アンサンブルをする上での構造を理解してあわせていく（その部分に応じて気をつけることを意識する）ことができた。 花の街で 聴いて感想を書く→知識を得る→味わい直し曲の良さを探す→紹介文を書く→としたところ、根拠を持って音楽を感じ、文章に表せる生徒が増えた。
女鳥羽中	1年 2年	魔王・・・文章（せりふ）をキャスト4人で感じを出して読んで練習し、発表し合う。 運命・・・曲を聴いて、浮かんできた情景をもとに、物語を作る。
附属松本中		映画音楽で音楽の効果が感じられるよう、台詞無しの音楽のみで再生できる題材を探し、比較した。場面にあう音楽の特徴を捉えて語る姿が見られた。
筑摩野中	小6	比較鑑賞をし、本来扱いたい曲目への興味、関心を高めることができた。 ホルスト作曲の木星を平原あやかのジュピターと比較。オーケストラの学習意欲が高まった。
松本ろう		和太鼓の授業で、教師の演奏を聴くことで生徒にやる気が見られ、即興演奏ができるようになった。自信につながった。
山ノ内中	1年	「魔王」役割を決めグループで発表（朗読）。生徒のいろいろな姿を見ることができた。
中野平中		音楽の諸要素を取り上げ、鑑賞と表現を結びつけて授業をした。
信州新町中	2年	運命の動機を数える活動 かなり大変そうでしたが楽しんでやっていました。
戸隠中	1年	魔王で短調と長調の雰囲気を楽しんで味わう 六段の調べで日本の音楽らしい音色の変化、曲の盛り上がり気づく
広陵中		春・・・ソネット作り アイーダ・・・1幕から2幕までしっかり見せる 音への感覚をみがく
塩尻西部中		「アイーダ」で、最後に別の演奏団体のDVDを見せ、『音楽（楽譜）は前と同じ』と説明はしたが、演出の違いに気づき、総合芸術について感得できた様子だった。
丘中		プロの演奏にふれた後、音楽意欲の向上が見られた。

筑北中		鑑賞CDを聴いて「春」より「小鳥のさえずり」を想像する場面で、ある生徒が口笛で小鳥の鳴き声をまねしたところ、とても上手で、他の生徒たちが感動して口々にまねし始め、教室が森のような状態になった。
上田養護		MT実習生によりコンサートや先日の移動音楽鑑賞会等で鑑賞をしています。日々の授業では、なかなか鑑賞学習は実施できません。知っている曲やノリのいい曲等では自然に体を動かして楽しんでいました。
第二中	中3	冬にオペラと歌舞伎を和洋総合芸術として扱う。特に歌舞伎（勸進帳）は見せる前に大河ドラマ（45分）を見せてから扱うことで、よりわかりやすく学習することができる。
和田中		魔王 朗読劇を取り入れることで、登場人物の心情に迫った読み取りが出来、曲想表現のポイントにせまることができた。
東部中		「書く」ことに答えはなく、まちがいはないことを伝え、机間指導の際、言葉一つ一つをほめて回ったら、恥ずかしがらずに自分の考えや思いを真剣に書くようになった。
第六中		鑑賞したものを実際に表現してみる、表現したものやそれに付随するものを鑑賞するなど、表現と鑑賞の一体化を常にはかすることで、表現・鑑賞への意欲が高まった。（例：「世界の歌声」の中でホーミーを聴く⇒実際のホーミーの発声を学び表現する。カンツォーネを聴く⇒ベルカント唱法を学び表現する。など）
大鹿中		作曲家の他の作品についてもあつかった。映像で見せる時間を増やした。
松川中		鑑賞後、批評文を書く場面で授業で習ったこと（ポイント）をふまえて曲の魅力を書かせる
豊丘中		鑑賞音楽教室のあわせて授業を展開する。今年度の場合（オペラ）であったので、プログラムの内容に即してあつかったことで興味を持てた。
天龍中		尺八「鹿の遠音」でリコーダーと尺八の比較をし、（音色・構造・節回し）尺八の魅力について考えた。
遠山中		まだあまり鑑賞をやっていない。ベートーベンの「運命」をやった時に、動機がたくさん使われていることに気づかせようと動機の数数を数えてみてもらったところ、楽しみながら集中して聴いている姿があった。
緑ヶ丘中		同一曲を異なる編曲のもの（3曲）で聴き比べをさせたところ、それぞれの曲のなかから「感じる雰囲気」と「そう感じるの曲のどこから」について語る事ができ、雰囲気と要素の関連に気づくことができた。
竜東中		気づかせたい要素がわかりやすいもの、なるべく映像があるものをつかっている。視覚的にも感受できるようにすることで感想の表現・記述が豊かになりました。
飯田東中		「魔王」で声質・音高・強弱などを手がかりに登場人物や物語を考えさせたら積極的に取り組めた。
竜峡中		観点をしばってきかせる（主題や特定のリズムさがし）
泰阜中		「動物謝肉祭」音楽の要素と動物の様子を関連させたり班でまとめ発表
阿南第二中		アイダは劇をおこなったあと、集中してDVDをみる事ができた。
福島中		鑑賞の時、聴くポイントを明確にし、イメージしたことをことばで書かせる場面を取り入れることにより、歌の苦手な生徒も言葉でも表現ができるようになった。
木祖中		木曾大会の時から意識して指導している。以前は「眠くなる」という感想がでていたが、最近は鑑賞が好きになり、表現にもつながった。
南木曾中		まとめとして視覚教材を用いたことで、曲のイメージをふくらませられた。
三岳中		「魔王」の曲名を伏せて鑑賞させ、曲名を考えさせた。

上松中		身近な曲で強弱や音の高低によるイメージの変化をあつかったあとで「春」の鑑賞に入ったことで、内容をイメージしやすくなった。
開田中		クイズ形式にししたり、情景を描かせたりする。
相森中		「題名のない音楽会」等、テレビで放送されているものを使用し特に鑑賞では楽しくわかりやすく理解でき、喜ぶ姿がみられる。
墨坂中		曲の構成と繰り返し替えについて何度も聴いていたなら「わかった!」とか「発見した!」という感動の声が聞けたこと。
下諏訪社中		春-5つの春をイメージして、モルダウ-どの標題があてはまるか考えて聴く。
原中		聴かせる際に、主題、動機などに注目して数えさせると集中する。題名(曲名)を示しておいていくつかの音楽を聴かせて当てさせる。
上諏訪中	中2	「小フーガ短調」: バッハの生涯を描いたアニメ映像を見せた。楽譜に自分の名前を題材にフーガの技法を作曲したこと。十字架が楽譜の中に隠れていること。パイプオルガン以外のオーケストラアレンジによる演奏を聴かせた。パイプオルガンの構造や音に興味を持った生徒のために、ベートーヴェン作曲「トルコ行進曲」をパイプオルガンの演奏で聴かせる。パイプオルガンの説明の映像(フランス人のオルガニストによるBS2映像) バッハの音楽がいろいろな音楽に影響を与えていることの例として、ジャック・ルーシェトリオのジャズアレンジによるイタリア協奏曲他。まとめの部分で、学習カードを作成し、授業で学んだことの見返しや、バッハの音楽の自分ながらの捉えを書くことができた。パイプオルガンによる演奏とオーケストラアレンジの演奏との比較などを書き、批評文の書き方とともにまとめをする事で、知識の定着が見られた。授業を見返す部分では、互いに授業で習った内容を聞きあう場面も見られた。
富士見中		言葉がより具体的になった。
岡谷東部中		ベートーヴェン第5の導入で、ベートーヴェンの日課や遺書などから彼の人間性に迫り意欲がもてた。
永明中		聴き取る要素を絞り込むと何をやっていくのが明確になると感じています。
小川中	1 2 3 1~3	「会津磐梯山」(鑑賞+表現) まず山を見せる→民謡のイメージを言わせる→聴かせる→表現(こぶし、合いの手、間などおさえると、ノリノリで歌った) 学習カードを工夫し、観点を書き入れ評価しやすくしている。「春」学習カードを工夫している。春から冬まで5分鑑賞で聴かせると、かなりよい発言が出てくる。「春」は実際にヴァイオリンを弾いて聴かせるので、とても喜ぶ。 「モルダウ」学習カードを工夫している。生徒たちは「○○(要素)が△△なので××かんじがしました」と言うことが習慣づいている。「アイダ」や「カルメン」はDVDを使って大きなスクリーンで。 とても興味を持った。最後に批評文を書かせている。 和楽器(箏、尺八等) 私が箏を弾き、理科の先生が尺八で「春の海」の最初の所や「六段」を演奏。これも批評文を書かせた。
第一中		音楽の諸要素によって曲の印象やイメージが変わる授業(魔王の導入で「ちょうちょ」をテンポ、強弱、調、音の高さを変えてピアノで弾き、「ちょうちょ」がどうなったかをイメージさせる。
軽井沢中		感受と知覚を分けてとらえられるような発問をしたり、評価(学習プリント〰〰と〰〰)をしてきた。
小諸東中	2, 3	「小フーガ短調」で、主題や応答がどんな順番でどの声部に出てくるか聴き取らせたところ、正解はとても少ないものの、多くの生徒が真剣

		に聴き入っていた。
春富中		鑑賞しながら書きとめる学習カードの工夫
飯島中		合唱のCDを聴かせたとき、発声をまねしようとする姿が見られた。
南箕輪中		導入や終末で、作曲家の人柄や生きた時代背景とともに、教師の思いを語っていたら、その曲の特徴以外にも思いを寄せた意見が出てきた。

(2) 課題と感じていること

学校名	事 例 (曲 名)
明善小	できるだけ聴く回数を重ねたいが時間が足りない。又長い曲は飽きてしまう子がいる。評価についても決めつけてしまうのは危険な気がする。
源地小	個々の心の動きを的確につかみ評価することが難しい。
本郷小	時数が行事が中心になりがちで、足りなく鑑賞まで十分にまわせない。
田川小	鑑賞の評価の場合、どうしても文章表現が上手な子に目がむいてしまうが、学習カードなどの工夫によって、どの子どもも感じ取れた内容をかけるようにしていきたい。
菅野小	感想や気づきを言葉で表すことに個人差がある。
島内小	楽器が不足している。
芳川小	評価がしっかりとできない。
今井小	ただ聴いて感想をかくだけという形になりやすい。評価が難しい。
中野小	○教科書の鑑賞資料が充実すると良い。6年生に「日本の楽器」の資料があるが、4年でも学習するので、そこにも載せてほしい。 ○指導書に鑑賞用のDVDがついていると良い。
延徳小	評価の仕方・・・感じているらしい中身が、児童によって表現方法がとても違う。(リズムを感じている、楽しそうな表情、文章やことばによる表現方法等)
日野小	○観点を持って聴かせることが大切と思うが難しい。 ○感想を言葉にして書くことを苦手とする子が多い。
山ノ内北小	DVDなどの教材設備の充実
長丘小	高学年の鑑賞で、子どもが興味を持てるような授業の導入。
中野平中	○教材研究がたりなくて、聴かせるポイントを絞っても、その内容に自信が持てない。 ○グループ学習が難しい。
倭小	評価の難しさ・・・文章にすることは苦手だけれど心では、感じている児童の評価
野沢温泉小	曲作りがもっと簡単にできないか
信州新町小	日本や世界の音楽のよさに浸らせることができずにいる。
豊野東小	邦楽など日本の伝統音楽の扱い方
中条小	児童の今の興味に沿った選曲
塩崎小	感想を書かせると、「書く能力」に左右されてしまい、「うまく書くこと(表現)はできないが、いろいろなことを感じ取っている子」をきちんと評価できるかが難しい。どういう観点で何に注目させて聴かせるか、というところでいつも悩んでしまう。
城山小	評価の仕方
共和小	評価の仕方。言葉による表現が苦手な子どもも表情等で評価する必要性は理解しているつもりだが、難しい。
七二会小	鑑賞の時間の確保
三本柳小	特徴等だけでなく、自分の想像したことなどをカードに書ける子と、何を聞いて何を感じたらいいのかわからなくて、なかなか聴き取れない子がいて、どう指導してあげるのが良いのかと思っている。
篠ノ井東小	感受したこと(していること)を、表現しにくい子どもの見取り。
通明小	感じていることをうまく言葉や文章その他の表現で伝えることが苦手な子への手

	立て
古牧小	日常の経験と結び付けたいが、生活経験が乏しかったり、言葉の語彙が少ない児童は、自分が感じたことをあらわすことが難しい。
古里小	児童の国語的な表現力が音楽の評価となりがちなこと。
山王小	CD, DVDによる鑑賞は、やはり指導力不足を感じる。
篠ノ井西小	時数が少ないため、一曲をじっくりと聴き取る事ができづらくなっている。
芋井小	気づき、感じたことを言葉にするのが苦手な児童が多く、なかなか学習が深まらない。
長沼小	「聴く」のみに終わってしまうこと。
徳間小	聴いた後の感想等をどのように深めていったらよいか。
安茂里小	感じたことを言葉に表すには、能力の低さから難しい子がいる。感じたことを表現させる工夫を考えたい。
大岡小	子どもたちが興味を持って学習できるような発問や内容の工夫。
真島小	指導がマンネリ化してしまい、いつも同じパターンの授業となってしまうている。
寺尾小	時数が限られているので、聴いて感想をまとめるだけになってしまうことが多い。
洗馬小	長めの曲をただ聴かせていると、途中で集中がきれてしまうので、工夫しなければと感じる。
塩尻西小	子どもたちが興味をもって聴こうとするための教材研究の必要性
桔梗小	アジアの音楽や世界の音楽の評価
宗賀小	感想を書かせると、作文の上手な子ほうまく表現できるが、それだけでは評価しづらい点。
片丘小 木曾植川小	感想を書かせるときの聴く観点をはっきりさせること。 オーケストラや弦楽合奏、吹奏楽の演奏を鑑賞したとき、どの楽器が主旋律を担当しているのか聴き取りにくい。本校には吹奏楽や金管バンドがないため、管楽器や弦楽器にふれる機会が少ない。そういう機会をどうつくっていったらよいか。
本城小	高学年は時数が少ない上に外部への発表(合音)があつて、練習にとられるため、鑑賞の時間を十分にとることが難しいし、なかなか深めることができない。
麻績小	聴く観点(ねらい)をはっきりさせて子どもたちに聴かせること
生坂小	時間数が少ない。
坂井小	イメージをどうふくらめさせるか
坂北小	聴いて書かせる(きこえてきた音、イメージ、速さ、強弱、理由)というワンパターンになりがち。もっとバラエティに富んだ活動ができればと思う。
滋野小	ただ漠然と聴かせてしまうことが多い。もっとポイントをしばって聴かせるべきかなと悩みます。
西内小	楽曲の感想やイメージを持たせる時、漠然としたものになりやすい。 →どこからそう感じるのか?その根拠を音楽的な要素から、考えることが難しい。そのための手だて(工夫)について、課題と感じています。
西小	視覚的な映像資料が全学校に配布されるべき。CDだけでは苦しい教材もあり、自己負担で購入して授業を行っている。
田中小	高学年は、なかなか鑑賞にかかる時間が少なく(行事に追われ)聴いて、気がついたことや感想を書かせるのみになってしまうことが多い。
傍陽小	・たくさん出回っているCDから、「子ども達に合った物を探して教材化を」というお話を以前お聞きしましたが、できればとても望ましいことだと思うので取り組んでいきたい。 ・具体的に、「この曲ではこれを」という明確なねらいを持たないと授業がうまくいかないので教材研究を充分するようにしたい。
和小	時間数の関係で多くの曲ができない。

塩川小	生の音を聴かせられない
北小	「ねらいをもって音楽をきかせる」その問いかけるまずはじめの声かけの言葉はどうあればよいか。
塩尻小	文章表現できない児童 感受のとらえが難しい。
丸子北小	たくさん扱いたいと思うが、なかなかできない
清明小	幅広く音源を探したり、子ども達の実態にあった教材を探したりするのが時間がかかる
川西小	映像資料をそろえる必要を感じている。
南小	鑑賞と表現活動がうまくむすびつくような指導ができるといいなあ と思う。
長小	楽しい鑑賞学習 つけたい力のために音源が重要だと思うが、自分が知っているものは少なすぎる。情報が欲しい。
塩田西小	活動の幅が広げられない。
青木小	「わかる」鑑賞指導
豊殿小	評価することが難しい
中塩田小	小・中9年間を通して、鑑賞学習で何をどんな力を身につけさせるのか
武石小	ひとりひとりのついた力がなかなか把握することが難しいと感じている。
神川小	鑑賞のすすめ方、評価の仕方
新野小	自分がどのように指導したらよいか、いまいちわからないときがある。しかし、子どもたちは鑑賞の勉強を必要をいやがっている姿は見られない。様々な授業（歌・楽器・鑑賞）をすることで、音楽が楽しいと感じているのでしょうか。わかりません。
喬木第二小	鑑賞設備が整ってないこと 本年度、テレビが入ったがDVD教材なし。映すにも職員室から機器を持ってこなくてはならない。
大下条小	言葉での表現に差がみられる。
豊丘北小	「ハックルベリーフィン」など曲の表すイメージとお話のむすびつけなどがうまくできないこと。
千栄小	想像したり根拠をつけて発表したり聴く力が弱い
松川北小	評価のあり方。とかく感想文で評価しがちなので音楽的な力をとらえにくい。
天龍小	低学年では特に、曲のイメージや雰囲気を感じ取るのが難しい子がいるので、「楽しい」や「おもしろい」でおわらないような鑑賞学習をおこなうのが難しい。
松川東小	できるだけ本物、本物に近い音楽を鑑賞できる機会をとりたいと考えていますが、できないでいます。
伊賀良小	書かせる以外の方法で感じ取ったことを表現させたとき、(カード・身体表現)大勢の児童の様子を把握しきれない。
座光寺小	感想を書かせると言葉足らずで自分の思いを伝えられない子どもが多い。
鼎小 高森南小	評価の仕方。特に低学年で共通事項をふまえて評価することが難しい。評価が難しい文字を書かせると書いて表現するいが、得意でない児童もいる。音を感じていても言葉で表すことが難しい。
和田小	聴く観点を示してあっても、それについて聴きとることのできない子がいる。
松尾小	担任の先生が、曲を聴いて違いがわからなかったり、ポイントを見つけられない場合があり、指導が難しい。
龍江小	週2時間(1時間)で表現領域に時間をかけてしまう行事が多く、積み重ねができない。
下條小	共通教材の深い授業がなかなかできない。
下久堅小	教科書以外の参考曲でねらいをする要素がききとれる曲をさがすのがむずかしい。
三穂小	「日本音楽・アジアの音楽・世界の音楽」を演奏しているDVD、本物の楽器があればいいと感じているが、予算もありません手に入らない。

上郷小	時間数 視聴覚機器が充実していない
山本小	教科書の教材が今ひとつない場合がある。もっと低～中学年のうちに聴かせたい良い曲はたくさんあるのだが聴かせてあげている余裕がない
松川中央小	教科書にある曲が少ないので、年間通しても扱う時間が少なくなっている
売木小中	言葉や文章で表せない児童・生徒の評価の仕方 「感受」を正当に評価するにはどうしたらよいか。
平谷小中	気づかせたい価値への気づかなかった時の発問
三岳小	言葉で表現するのが難しい。
木祖小	「じっくり味わう」までいけない。
上松小	評価の仕方
南木曾小	DVDを見せると、見てほしいポイントだけでなく全体が見えてしまうので、違うところをみてしまったりする。本当は映像を見せたいが、やめている。
上田小	聴かせるポイントを明らかにして、聴かせること。
須坂小	時間をかけすぎずに課題を持たせた授業を進めるには、どうしたらよいか。
豊洲小	音楽を聴くことは好きだが、感想を書いて、発表し合うことで活動が終わってしまいがちであることと評価の仕方。
日野小	アジアの音楽、世界の音楽等、調べ学習をする時間がなく、ただ一通り聴いて終わらせてしまうことが多いが、それでいいのか。鑑賞教材は、自由に選択できるが、つける力がついたのかの評価がむずかしい。
小山小	気付いたこと、感じたことを書く時に、音楽の要素に気づき書ける子と感じたことを表現して書くことが難しい子がいる。学習カードの工夫が必要だと思うが、どのようなカードを作り、発問したらどうか、難しいと感じています。
本郷小	限られた時間の中でやりたいことが多すぎる。
長地小	・ 子どもがふと言ったことを全体に広げていくこと クラスによって感じ方がとても違うので予想がつきにくい。
小井川小	自分なりの言葉で表現することがなかなかできない。
城北小	本校にはDVD、VTRが全くない。資料集めに苦労している。
豊平小	子ども達がどう感じたかを評価するのが難しい。
神明小	時間が少ない。生の演奏を聴く機会があまり無い。
下諏訪北小	評価のあり方
岡谷小	評価の方法。聴き取っていても言葉で表現できない子どもに対してどう支援するか。学習カード以外の方法は？
中洲小	言語表現の力がない子どもが多くなった気がする。
湖南小	要素を結びつけ、それに注目しての聴かせ方の工夫。
境小	音楽の特徴や感じた事を言葉で表すには積み重ねが必要。
田中小	ねらいにせまれる学習カード。
永明小	なかなか深めていくとなると難しい。
金沢小	一人一人のつぶやきをもっと教師がうまく取り上げればと思っている。
富士見小	鑑賞の能力は、音楽の要素などを聴き取れるかどうかで評価しているが、たとえその能力が高くなくても、音楽を聴くのが大好きという育ちを見せる子どもにはたくさん出会ってきた。その辺に疑問を感じている。
富士里小	評価の仕方
牟礼西小	聴いて、説明して終わりにならないようにしたいとは思っているが…。
白馬北小	何を感じたらよいかと思ってしまう子（迷って）と、感じたことをどんな言葉で表現したらよいか（言葉を知らない）困っている子への手立て
大町南小	個々の感想や感受を紹介し合い、音楽の諸要素の聴き取りに努めているが、楽しい曲、おもしろい曲等、漠然とした感想しか持てない子の鑑賞力をどう高め、培っていくか。
大町西小、東小	評価の仕方

小谷小	音源がCDのみの場合、聴くポイントをあらかじめ伝えておいても反応が鈍い。
八坂小	聴いて感じたことを言葉で表現する。その間に壁を感じることもある。
大町北小	音楽会終了後、夏休み前に行わないといけないものもあり、工夫してあきのこない時間にしたい。
美麻小中	書くことを苦手とする生徒への支援。批評するという点について。
野沢小、佐久城山小、 坂の上小、浅科小、 岩村田小、中佐都小	評価について 子どもの姿、つぶやき、学習カードの記入内容から評価をしているが、言語表現が上手にできない子の評価が難しい
青沼小、岸野小 浅科小、切原小	聴いて感想を書いて終わりとなってしまう。興味を持って聴いてくれるような工夫はないか。
千曲小	「日本の歌曲」は昔のものを歌っているので、なかなか情景をイメージすることが難しい。
立科小	小学生に尺八は難しかった。
中込小	音楽室のオーディオ備品の充実
西春近南小	1, 2年生にどこまで鑑賞力を求めるか。
辰野東小	5, 6年のアジアと世界の音楽について、表現活動につなげていくと楽しいと思うが、時数が不足して扱えない。
辰野西小	共通事項を意識して聴かせるようにしているが、味気なくなってしまう。学習カードも共通事項に限定したものになり、自由にイメージすることが少なくなる。
富県小	低学年で曲に合わせて身体表現をした。同じような動きになってしまってもよいか。
箕輪東小	各学年にあった曲は何か。どの場面を聴かせるか。
奈川中	「ふ～んそうなんだ」から、「もっと知りたい」と思わせられるような学習。
旭町中	時数が少ないので、曲数が限られ系統性を持たせて聴かせることが難しい。
清水中	評価の仕方が難しい。
高綱中	学習カードも含め、鑑賞過程の工夫のあり方
鎌田中	しっかりと表現までつなげて学習すると必要以上に時数がとられてしまいます。しかしただ鑑賞しただけでは、深まらない出来る限り少ない時数でどう学習を深めるか。 日本の伝統音楽（雅楽、歌舞伎）や世界の民族音楽をどう鑑賞させたらよいか。
鉢盛中	壮大な曲（交響曲第5番）は部分的に説明的に聴かせるようになってしまい、曲本来の良さを味わわせるのが難しいと感じています。
丸ノ内中	効率的に意欲を高め、鑑賞に入ることができない。そのため、聴かされているという感覚が強くなってしまう。
附属松本中	歌舞伎、オペラ等じっくり味合う内容にかかる時間の確保の為、他の題材を含めて精選していく点。
筑摩野中	年間を通して扱える曲数に限りがある。
明善中	いつもワパターンな指示になってしまい、子どもの実態・興味があっているかどうか心配。
松本ろう	重複生、単一生がいる中での教材の工夫。 旭町小学校のこどもたちと、本校単一1年生が音楽を一緒にやらせていただいている中での授業のあり方。
山ノ内中	和楽器を扱いたいが、時間の確保が難しい。
大岡中	授業時数が少なく2, 3年ではゆっくり鑑賞学習ができていません
戸隠中	協奏曲はいまだにアランフェス協奏曲を聞かせて器楽のギターにつなげている。 映画音楽やさまざまな時代の合唱など題材は喜んで聴くがどんな力をつけたらよいか決め切れていないのが課題と感じる
信州新町中 川中島中	表現との結びつき
広陵中	時間がとれない
塩尻西部中	「感じる」よりも、知識の教え込みになってしまいがち。

筑北中	時間数確保。 前時から本時、次時への時間的なブランクが継続的な学習を妨げていること。
第二中	・評価について ・時数について
東部中	感じたことと音楽要素の結びつけが、あいまいになってしまうこと。 感じたことを語り合える学級づくり。
第六中	継続的な学習ができない。前回の授業が2～3週間前、ということも度々ある。
大鹿中	難しい曲をどのようにわかりやすく説明するか。理解させる。
下條中	楽しさ・おもしろさを多くの子どもにつたえること
鼎中	文章力がある生徒とない生徒の差、よい感じ方していても文章力に弱い生徒は書けない
松川中	感受の評価
豊丘中	日本音楽の映像・音源資料が少ない。(民族音楽も)
天龍中	この力をつけたい。この要素を聴き取らせたい。には「この曲」というアイデアがもっとほしい。
遠山中	感じたことをどうやって引き出すか。文章にするとあまり書けない子へはどう手だてをとていけばいいのか。
喬木中	鑑賞カードなど記入するためには机が必要。教室の状況は机がなく。
緑ヶ丘中 高陵中	鑑賞学習で取得した力をいかに表現で活用していくか。
竜東中	評価のつけ方
飯田東中	題材の伝達になってしまうこと。
竜峡中	1曲を通し、集中して聴かせること
泰阜中	鑑賞と表現の単元を1つの題材として組ませ、鑑賞で学んだことを表現または表現→鑑賞→表現とし表現する力をつけさせること
阿南第二中	いろいろと見せたいものがあるがミュージカルやオペラは長い。
福島中	すべての楽章を聴かせる時間がとれないこと。
南木曾中	学んでほしいことを明確にして授業を組み立てること。
三岳中	「フーガ ト短調」「運命」おもしろいと思わせるような聴かせ方。
上松中	何を積み上げていくのか明確にしたい。
開田中	一つの題材を2時間で計画しているが、毎回のびてしまう。盛りだくさんになって、何が要点か、あやふやになってしまう。
相森中	教科書はやはりある以上、使用する気持ちで取り組んでいる。他は上記のようにテレビ番組からも使用を心掛けている。
墨坂中	いちいち感想を書かせるのもなんだなあと思うと聴かせっぱなしになってしまうこと。
小布施中	・感受の部分の評価について ・知識的なことに偏りがち
東中	教材研究が不十分なため、思うような鑑賞の授業ができない。
下諏訪社中	曲の良さ、イメージをして聞いたものをどう深めていけばいいのか。
茅野東部中	他領域との関係など、効果的な展開があったら教えていただきたい。
原中	とにかくじっくり音楽に聴き入る事が苦手な生徒が多い。
上諏訪中	新しい学習指導要領に関する新しい考え方の実践を、事前に意識的にやっていく事。
富士見中	そんなに時間が取れない。
城南中	音楽要素とどのようにからめて聴かせていくか。
第一中	日本の曲(雅楽や歌舞伎)の扱いが難しい。
八坂中	歌舞伎、オペラ、諸民族の音楽…曲や特性を紹介したり曲を聴いたりするが、深

	まらない。
佐久中	鑑賞への興味・関心を持たせ、つけたい力に合わせた教材の選定。
軽井沢中	感受と知覚を分けて感じ取った後、丸ごと楽曲の良さを聴き取るための活動や手立てのあり方。
望月中	行事に伴う歌唱指導で時間が一杯の中、一つの鑑賞教材に関連した音楽を本当は扱って比較させたいが、聴かせてプリントをまとめさせるのが精一杯。
小海中	書くことが苦手な生徒が多いため、感想の記入が満足いくものになっていない。
御代田中	鑑賞中に集中が切れてしまう生徒がいる。
小諸東中	扱いたい曲はたくさんあるが、授業時数が減少傾向にあり、ごく一部の楽曲しか鑑賞できないのが残念。深く聴き込んで曲への思いをふくらます時間も足りない。
南箕輪中	思いを語らせたり、子どもの感じ取ったことや聴き取ったことを発表し合う時間がうまくいかない。
飯島中	ただ聴かせて感想を書かせるパターンに陥りがちです。
辰野中	教材が高価でそろえにくい。NHKの教材を学校で利用するシステムがない。
春富中	教材研究の時間がとれない。目の前にいる生徒に適した選曲。

5 移行や来年度完全実施に向けて課題と感じていること、困っていることをご記入ください。

(1) 課題と感じていること

学校名	事例(曲名)
明善小	指導の狙いに即して体を動かす活動の具体的な方法の例がほしい。実態を考慮して選択する事という指示が多く、あまりにも曖昧に感じる。
源地小	感じたり、意図をもったり、子どもはしていてもそれを教師が見取ってやれないことが多い。子どもに自分の心を表現する経験(技術)をもっと積み重ねさせたい。
田川小	鑑賞における評価のあり方
島内小	昨年の校内研究でだいぶ年間計画の見直しや音楽作りについても、学年別の計画を立ててみたりしてきましたので、安心して迎えられる体制ができていてありがたいと感じています。
中野小	○共通事項を授業の中でしっかり関連づけていけるがどうか。 ○演奏の仕方を工夫させるためにグループ学習などをしたいが、少人数になると技術的なことでつまずいたり、その練習で時間がかかってしまったり、工夫したことをみんなで見合ったり聴きあったりするのが難しい。
倭小	児童数の減少により、合奏などの曲への取り組み方
豊栄小	音楽会が7月なので、1学期にやりたいリトミック等の音楽遊びをゆっくりとしている時間がないので、困っている。
信州新町小	創作活動と鑑賞活動から音楽の構造の基本原理に迫るための手立て、教材化。
豊野東小	時数の変化はなかったと思うが、音楽会・合同音楽会などの行事に向けて、かなり時数が必要なのが、毎年課題である。
中条小	行事との兼ね合いをどうつけるか。
七二会小	指導内容が増えているので、今までと同じ時数の中で、どのようにこなしていくか。
戸隠小	5・6年の時数50時間の中で、どれだけ、思いを持って表現を深めていくことができるか。
裾花小	表現と鑑賞の一体化ということで、どのような授業を組み立てたらよいか。
通明小	共通事項の指導について
古牧小	限られた少ない時間の中で、音楽的な感受性や、基礎的な内容を指導しなければならないことが難しい。(音楽会やいろいろな行事との兼ね合いで計画的に指導・準備をしていく必要があるが、日常が非常に忙しい)

山王小	毎日忙しく、教材研究、準備をしっかりとしていないことも多く反省している。
東条小	完全実施に向けて、勉強不足で良くわかっていないということが課題。
浅川小	鑑賞曲はどれを聴かせると効果的か。
真島小	「鑑賞指導」と「音楽づくり」について、いろいろな事例に学びながら、自分の指導のあり方を探っていくことが課題。
塩尻西小	6年間通してのつきたい力、学習する内容ははっきりさせなくてはと思っている。
宗賀小	和楽器を扱うことが多くなる。
麻績小	授業の中で取り上げる共通事項や、つきたい力を明確にして授業に臨むこと。
生坂小	各学年にそった力をつける
坂北小	どの部分がかわっているのか把握しておくこと。 創作、鑑賞の扱い方。
滋野小	他教科の内容、時数が増えたことで音楽の余剰時間が少なくなり音楽会のためにとれる時間が少なくなった。その中で充実感を持たせられる選曲を工夫しなければならないのが難しいです。
西内小	音楽会・運動会等の行事のために、音楽の学習を行うことが多くなってしまう。児童の実態、付きたい力、教科書にそった教材を中心にした学習を展開する時、どうしても時数が不足してしまう。
西小	授業時数（年間50の学年）を守って音楽会や音楽発表を伴う諸行事をこなしながら教科書を満足に扱うのは不可能。総合の時間や学校裁量の時間も充分にもらえない今日、時数をごまかしながら行っている現状です。
田中小	伝統音楽の指導、郷土の音楽の教材化
傍陽小	・鑑賞の基本（反復、問いと答え等） ・創作に必要なリズムが定着していない場合も多く、なかなか表現につながらない。
和小	広く、浅くしか できないこと
塩川小	・音楽会のあり方と指導時数（どうしても音楽会に向けての指導時数が増えてしまう）特に5，6年がきびしい。 ・楽しさの追求と基礎力の洗い出し
北小	年間を通してみないとわかりませんが、指導例がいくつかあるといいと思います。
清明小	創作は時間がかかるが、時数削減との関連で、時数を確保するために年間の見通しをしっかりとしなければならないことが課題。いわゆる「表現」を音楽会でカウントしてバランスよく配列したいが難しい。
南小	日本音楽の扱い方
青木小	鑑賞指導 音楽要素に気づかせて鑑賞すること
豊殿小	共通事項を生かした授業づくり
武石小	年間指導時数が限られている中で、1時間（45分）のメリハリのある展開によりつきたい力をつけていく必要がよりいっそう求められていると課題に感じている。
神川小	基礎知識（譜読み）やリコーダーのふき方、指の定着
北御牧小	はじめての小学校なので、まだ何とも言えません。
新野小	思いが伝わる演奏 意図を持って表現するという事に対する指導方法
喬木第二小	高学年は、音楽会と郡の音楽会に授業時間がとられてしまい、教科書教材が浅い音楽扱いになってしまうこと。
豊丘北小	高学年の時数が減り、行事のためにかかるものと、教科書の内容とのやりくり精選が難しいこと。
千栄小	低学年（1・2年）と高学年（3～6年）で授業をしているので毎年リコーダーや鍵盤ハーモニーを始めから学習したり郡音で授業ができなかったりと扱えない教材が多いです。

天龍小	その学年に適した指導ができるか。
松川東小	複式での指導のため、授業内容をどう組んでいくか考え直していかなくてはと思っています。
鼎小	○「日本の音楽」「世界の音楽」をどのようにあつかっていったらよいか。民謡など「聴くだけ」になってしまっている。 ○美しく合唱すること（それも大切だが）発表することに目が向きがちで学校全体に新要領の内容について理解してもらうことが難しい
高森南小	音楽は授業数はかわらず、他教科の内容がふえてきて、授業時間がたりないと言われる中、音楽会や郡音に向けての練習時間はどう生み出していくか。選曲に気をつかう。「思いや意図をもって…」をやっていると時間がかかる。一年間をどう見直しをもってやるか。
阿智第一小	高学年になると1学期音楽会、2学期郡音、3学期卒業式へ向けての歌唱を中心とした指導が多くなりなかなか鑑賞学習がじっくりできない。
上村小	語彙力を養うこと。 聴き取った感じを音楽の要素と結びつけて言葉で表現させたい。
三穂小	音楽会・郡音と行事の発表に向け、6年（高学年中心）に指導時数の3分の1ほどがしめており、教科書教材の共通教材が浅い扱いになってしまう。全てをやりきる時数がたりないこと。
松尾小	和楽器（中学年）の鑑賞をどのようにとりいれていくか。
山本小	「共通事項」の取り入れ方 教科書の題材を指導書の目標どおりにやっても各学年の共通事項の目標をすべてクリアできるとは限らない
阿智第二小	基礎・基本を身につけられるようにしているだろうか。やはり大切
三岳小	限られた時間の中で行事や音楽集会の準備、練習をしながら学習内容を網羅すること。年間計画の工夫。
木祖小	楽譜が読めないこと。「楽譜」のすばらしさを子どもたちにもっと伝えたい。
南木曾小	内容が増えたので、バランスを考えなおさねばならない。
上田小	指導しなければならない内容と時間配分を、自分の中でもっと整理しなければならない。
豊洲小	鑑賞の学習で思いや意図を持って表現できるような学習活動の取り入れ方、具体的な指導法。
旭ヶ丘小	少ない時数でより多くの子が音楽の楽しみを味わえるための題材展開の工夫。
高甫小	音楽科としては特にありませんが、総合の時間を使って学年音楽などを取り組んできたので、そのあたりが心配です。
日野小	少ない時数の中、指導内容がふえ、どのように定着させていくか。
小山小	・行事の指導でかなりの時間がとられ、特に高学年（6年）は時間が足りない。 ・音楽会の練習等で季節に合わせて歌いたい共通教材さえも学習時間のとれないことが多い。
豊丘小	・共通事項を取り上げた授業構想における教師が提示するものと、子どもに気づかせていくものあり方やつながりについて。 ・共通事項で学んだことを生かしながら、自分の願いを持ち、表現するための授業構想のあり方。
本郷小	改訂された内容は素晴らしいと思うが、それらを全ての子ども達に定着させるだけの、十分な時間数が確保されているとは言えないと思う
長地小	子どもが大いに工夫することと教師が出るところを整理しないと少ない時間がうまく使えない。
小井川小	音楽科としてつきたい力を明確にした上で、年間計画を見直さなければいけないと思っている。
城北小	評価の仕方
豊平小	音楽を言葉で表現する区とがとても大切なことなのか疑問。時数が減っている中、

	そこに時間を費やすことが感性を豊かにすることになるのだろうか。
神明小	創作や日本の音楽
中洲小	昨年、県の大会の研究に関わらせていただいたことで学ぶ機会が多くありがたかった。実施になった後、多くの事例を集め参考にできる機会があればよいと思う。
泉野小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽要素と子ども達を結びつける焦点化された学習展開をしていくこと ・ 音楽要素に関わって、表現と鑑賞を結びつけながら、子ども達にとって、より確かな系統が見えてくるようにすること
境小	音楽を形作る要素など取り入れてはみたものの、まだ定着はしていない。授業の中で系統だてて扱っていくなど工夫が必要。
玉川小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能面は評価できるが、鑑賞などの表現面をどのように評価していけば良いかが課題。 ・ 音楽遊び的な活動を取り入れたいが、授業時数内には難しい。 ・ 教科書の教材の取り扱いの軽重が難しい。行事との時数の割り振りも課題。 ・ 高学年にいくほど、扱う内容が多いが時数が少ない。音楽作り時数が必要。
永明小	要素とねらいと子どもの意識をつなげて発問を練ること。
飯山小	音楽会、式歌などの練習に多くの時間がとられてしまうので、年間計画をどのようにしていくか。
岡山小	音楽専科がないので、日々の音楽集会、授業の運営で悩んでいる。
大町南小	音楽作りについては、低学年から系統的に経験を重ねて学習活動を積み上げていかないと高学年の活動が充実しない。特に教科書の巻末に記載されている「物語の音楽」の題材はまさにそれが必要とされる。低学年は、学級担任が音楽指導をする場合が多いので、専科は連絡・連携を密にしていくことが必要。
美南ガ丘小 中佐都小	移行内容の把握が甘いこと。
千曲小	時数が少ない。音楽会も大切であるが、これにかかる時間をとると、年間通してじっくり音楽活動や教科書に取り組める時間が確保できない。限られた時数の中でどうやって力をつけていくか。
岸野小	聴き取ったことや感じ取ったことを「言葉で表す」表現力をどのようにつけていくか。
中込小	和楽器の学習（箏、尺八）
箕輪東小	創作についての基礎知識。どう始めていくのか。何気なく作って評価できるか。
富県小	授業数が少ない。（特に高学年）
辰野西小	音楽作りが難しい。1年生から力をどうつけていくか。どう進め、評価していったらよいかわからない。独りよがりになりそう。
箕輪北小	小学校での指導経験が浅く、日々の準備に追われている。
辰野東小	評価規準について
西春近南小	時数が不足（特に3年）リコーダーの力をつけたいが、担任がクラスで取り組まなければむずかしい。
旭町中	日本の伝統的な音楽の指導
丸ノ内中	内容の精選や効率化、学習内容のバランスをとるなど、時数の中でやっていくために、更に工夫していかないといけない状況にある。
女鳥羽中	授業時間が少ないので定着がなかなか図れない。
附属松本中	移行後の感受を位置づけと授業の作り方
筑摩野中	日本歌曲の扱いが後回しになってしまう。年間の計画が行事等によりなかなか充分に行うことができません。
豊田中	興味関心 音感（音がとれない） リズム（音の長さ）
大岡中	和楽器の学習について 地域の保存会の方に協力いただいて指導をお願いした
鬼無里中	表現教材で民謡、長唄などわが国の伝統的な歌唱のうち地域や学校、生徒の実態を考慮して伝統的な声の特徴を感じ取れるものとあるが難しい

川中島中	地域の伝統音楽をどのように取り組むか 昨年民謡に取り組んでみたが、どんな力を付ければよいか、迷った。
西部中	時間短縮でどのように教えていくか
戸隠中	唱歌を扱うねらい、目標をもちたい（どのように新ＣＳで出されてくるのか知りたい。）
両小野中	和楽器の扱いについて
広陵中	時数の確保 具体的な評価の方法
塩尻西部中	時数が少ない中で教えることが増えている。「教わっているけど、力になっていない」生徒が増えそう。
筑北中	自分の教材研究の時間がとれない。
第二中	自分自身の理解がまだ不十分であること。
東部中	音楽的な要素と感受とを関わらせること。
第六中	日本歌曲の良さを生徒に実感してもらえるような授業をすること。
下條中	器楽指導について（各学校でどんな取り組みがあるか知りたい）
松川中	創作が難しい
豊丘中	小中で連携した指導内容を検討する必要がある
天龍中 緑ヶ丘中	音楽作りや和楽器の指導を少ない時数の中、行事もあるなかどう効率よく組み入れていくか。何かよい題材はないか。
遠山中 高陵中	鑑賞の能力（批評するところまで）をしっかりとつけること 小学校との連携
喬木中	小学校（特に高学年）で扱う歌（心の歌など）を歌えない子がいること。（文部省歌を知らずに福祉体験などで高齢者と一緒に歌える姿が無いにひとしい）
竜東中	「心の歌」の扱い
泰阜中	日本の音楽を充実させること
福島中	授業時数は削減されているのに、校内音楽会が従来通りあり、忙しい。内容が薄くなったり、クラスの負担が大きくなっている。
南木曾中	授業時数の配分。
三岳中	和楽器
開田中	幅広いジャンルに適應できる能力が求められていると感じている。
相森中	時数は変わらない中で共通教材をいかに効率よく展開していくか。
墨坂中	日本特有の楽器の扱いはどうするのかわからない。
高山中	1つの楽曲について、深く掘り下げて学習することが少なくなっている。広く浅く、楽しむ方向になっていると感じる。もっと追求したいなということを残しつつ、授業が進んでいるように思う。
下諏訪社中	日本歌曲をいかに魅力的に行うか。
茅野東部中	年間指導計画。
上諏訪中	小学校の教科書の内容がどのように変わったか知りたい。
城南中	時数の少ない中で、どのように取り入れどのように実施していったらよいか。
第一中	鑑賞領域の「根拠を持って批評する」ことの根拠の持ち方や、その力を歌唱領域でふくらませられるかどうか。我が国の伝統音楽の扱い方。
小谷中	週1回しかない中で、教科書の内容をどううまく精選して扱っていくか。
八坂中、美麻小中	共通事項の扱い
小諸東中	地域性、学校の特色はあると思うが、地域の小中高がさらに連携を深めて指導要領の学年の目標や内容などに迫るため、どんな教材で、どんなつきたい力をねらって、どんな手だてで学習しているのか。市内くらの単位で音楽科職員が集まって情報交換をし合えるような場が欲しい。小中高一貫性のある音楽学習を展開したい。

軽井沢中	“テクスチュア”（共通事項）のとらえが明確にできていない。どの教材で教えられるか。
望月中	日本の音楽の扱い
小海中	週1時間の中で合唱祭に向けての準備で、ほぼ半数の時間が消化されるため、創作、器楽、教科書の内容を全て教えることは不可能に近い状態。
辰野中	指導案の蓄積や公開がやれないか。
宮田中	分析的に音楽を聴くのに集中するのではなく、素直に感じ取ることのできる授業でありたい。内容を吟味し、十分教材研究を積みたいのだが、その時間の確保がままならない。
南箕輪中	創作のすすめ方、やり方

(2) 困っていること

学校名	事例(曲名)
明善小	基準になるものが示されていない中で言葉だけの指示を実践するのはとまどいがある。実際に望ましいやり方やDVDなどで参考にできたらと感じている。
田川小	高学年になると、言動活動において、個人差が生じ、どうしても言葉巧みな子が高い評価を得てしまうこと。
菅野小	指導計画がまだきちんとたてていないので、何もはつきりできず、すみません。
島内小	実際の授業では、音楽への関心度の差や、集中力の面で生徒指導をしていかなければ授業が成り立たない状況をどう工夫していくか、という部分、困っています。頑張っていますが・・・
中野小	○曲作り・・・詩を作るのに時間がかかったり、曲のまとまりを持たせるにはどう教えたらよいか。子どもにとって2小節なら良いが、4小節になると難しさを感じさせてしまう。
豊野東小	新しい教科書の内容が気がかり。
中条小	行事のために授業を使いすぎてしまうこと。
湯谷小	音楽会の練習時間も年間指導時数の中に含めてカウントしているため、時数が足りない。
通明小	能力差、感じ方が様々な子どもたちが、差はあってもわかる、できると満足することができる指導。
長沼小	時間数の確保の面（あまりやりすぎてしまっては…と思うこと）
徳間小	専科の場合、時数や学校行事等の関係で授業がとびとびになってしまうので、子どもたちの意識の流れも途切れてしまうことが多く、どうしたら意識を持続させることができるだろうかと悩んでいる。
更府小	5年生5名、6年生7名と少ない人数の中、変声期の児童に対する配慮はどのようにしたら良いか。
真島小	授業時数が削減されている中で、新CSの視点を踏まえた授業展開が可能かどうか。
宗賀小	和楽器が少ない。
生坂小	時間数がすくなくない中、行事もこなさないといけない。
西内小	音楽会・運動会等の行事のために、音楽の学習を行うことが多くなってしまう。児童の実態、付けたい力、教科書にそった教材を中心にした学習を展開する時、どうしても時数が不足してしまう。 子どもたちが、心から歌を楽しみ、身体全体を使って精一杯表現できるような姿を願っているのですが、そのための手だてに悩んでいます。自己表現をどう導き出していくか？
西小	授業時数（年間50の学年）を守って音楽会や音楽発表を伴う諸行事をこなしながら教科書を満足に扱うのは不可能。総合の時間や学校裁量の時間も充分にもらえない今日、時数をごまかしながら行っている現状です。
田中小	日本の伝統音楽に、いかに子ども達が興味をもって取り組ませるか。

傍陽小	冬げしきとスキーの歌は、どちらも子ども達がとても好きなので、授業で扱っているが、同じ時期にばり、また卒業式の準備を前にして余裕が持てないことがある。
塩川小	読譜力のつけ方とその時間の確保
南小	日頃の音楽学習と行事のつながり、バランスをよくしたいと思っているが、かなかなうまくいきません。
青木小	高学年の時数が足りない
武石小	校内音楽会、上田市連合音楽会、卒業式等の取り組む時間と授業時数のかねあい(特に5, 6年)
神川小	今、いろいろな子が教室の中で、それぞれの課題を見つけてやるのも困難だが、「皆で一緒に」が苦手な子どもに「声をそろえる」「音をききあって」は難しく、“その場にいる”現状であること。
喬木第二小	高学年！時数がほしい。工夫していらっしゃること教えていただきたいです。
和合小	音楽指導全般に関して ・専科がない、それどころかピアノを弾ける職員もいないような状態で十分な指導をしてあげられなくて児童がかわいそう。本校のような小規模校で人員配置が難しくても週に1回専門職員が通ってくれる等の配慮がほしい。
座光寺小	時数が少ないこと
高森南小	思いと意図の意図のとらえさせ方。本校ではヒミツさがしとして音楽要素をあつかった後、それを使うことを意図ととらえているか。使うのには積み重ねが必要。
龍江小	和楽器の不足
泰阜小	和楽器をどの程度取り扱えばよいのか。
下條小	郡の音楽会などの練習時間の確保がむずかしい。
三穂小	5年生の和音の学習、I・IV・V・V7という呼び方が必要なのか。C・F・G・G7ではいけないのか。ピアノなど習っている子どもは定着してもほとんどの子どもは素通りしてしまう。
清内路小	「共通事項」の扱い方
山本小	「共通事項」がおろそかになる
阿智第二小	ねらいにあった楽譜があるだろうか(特に経験の浅い若い先生)
木祖小	「これ、どうやってふくの？」とすぐに聴きに来る子ども達。楽譜
豊丘小	鑑賞教材の共通事項がわかったのち、自分たちが取り組んでいる楽曲の表現にどうつなげていったらよいのか。
本郷小	改訂された内容は素晴らしいと思うが、それらを全ての子ども達に定着させるだけの、十分な時間数が確保されているとは言えないと思う
豊平小	5, 6年生は1学期週1回のため、やりたいことがしっかりできず進んでしまう。
神明小	自分が勉強不足なので勉強しなくてはと感じている。
下諏訪北小	行事の練習で授業内容がかなり削られてしまうのが実情であり、5, 6年生が特に時数が厳しいと感じる。
岡谷小	移行にあたり、授業例、実践例などの資料がほしい。
泉野小	内容的に充実するにもかかわらず、時数増はないので相当エキスをしぼらなくてはいけないこと
境小	評価がどうなるのか十分理解していない。
富士里小	共通事項をどうとらえ、どう扱えばよいか。
牟礼西小	評価の仕方
小谷小	授業時数は変わらないのに共通教材が増えたこと。
大町南小	高学年の授業時数が少なく、音楽会や行事等に時数が費やされる傾向があるため、音楽作りが評価のための旋律作りに終始してしまう。(自由な発想を生かして、関わり合いながら楽しく音楽づくりができる場が設定できず残念)
中佐都小	指導書が現行のCSのものなので、参考になるものが欲しい。(特に指導案を作

	るときに) 長野県の手引き書も新しいものがなくて困る。
千曲小	教科書を中心にやっているが、どの曲を選び、どんな授業の流れにするとよいのか。毎年悩みながらやっている。
佐久城山小	時数は少なく、やるべき内容は増えているのをどうしたらよいか。
辰野東小	効率よく「できた、わかった」となるような支援、指導法
富県小	音楽会(校内、外部)の練習ができない。時間が不足し、学習内容を十分に指導できない。
清水中	内容のわりに時間が少ないこと
丸ノ内中	本校では学校選択を利用して2, 3年生の時数を少し増やして頂いてきたが、時数の中でやっていくことが難しい。特に行事に向けての合唱練習など、授業の中で組む込むことが期待されるため、器楽にじっくり取り組む、創作に時間をさくことが出来にくい。
旭町中	和楽器の数が充分でない
豊田中	音のとれない生徒が多く、一本調子で歌う生徒が多い。
両小野中	授業と行事の関係
塩尻西部中	共通教材を学習する必要性をどうもたせるか
東部中	時数に内容を合わせて教材を考えていくこと。
第六中	合唱コンクールや行事の合唱の質を下げずに日本歌曲の時間を捻出すること。
遠山中	中学がはじめてなのでまだよくわかりません。
喬木中	時間数はかわらないが、やるべきことは従前より増えており、扱う時間がとれない。
緑ヶ丘中	和楽器について
飯田東中	和楽器の取り扱い…少ない台数でも取りくめるものはないか。授業時数の少なさ。
泰阜中	和楽器の台数が少なく他校から借りてこないとできない
木祖中	長唄の指導。
開田中	民族楽器 和楽器 長唄 からメロディーやリズムをつかみ取れるようになってほしい。
相森中	創作でのわかりやすい教材がないか、正直時間もうすくとれない状況です。
墨坂中	琴やギターは人気があり、ぜひ授業に取り入れていきたいが、楽器の数がそろわずなかなか思うように進まない。
東中	ギターやキーボードを使ったアンサンブルや読譜の基礎的なことなどの学習が思うようにできない。合唱に費やす時間が多くたいへんです。
下諏訪社中	歌唱がどうしても多くなるのでバランスが難しい。
小川中	文化祭での音楽会で歌う曲の授業で、パート練習や音取りをただやるだけになってしまう。なかなかうまく授業をしくめない。
八坂中	リコーダー、鑑賞…時数が少なく、評価のために行っている感じがする。
佐久中	教材研究をする時間がとれない。(教材との新鮮な出会いをさせたいと思っているが、なかなか工夫が難しい。)
望月中	三味線が2台ずつ市内中学校に配付された。2台だけではどうにもならない上に、教師も指導を受けなくては「タンスのこやし」になってしまう。
小海中	日本楽器や他の楽器の数が不十分。
小諸東中	例えば、中学校しか経験のない先生にとってみると、小学校ではいつごろ何時間くらいかけて、どんなやりかたで音符について学習してきているのかわからない。目の前にいる生徒たちの学びの経過がわかるだけで、中学の授業での扱いも全く変わる。

6 研究研修委員会で開催を希望する研修内容についてご記入ください。

(1) 受講したい研修内容

研修内容	希望学校数
日本の伝統的な歌唱、民謡、伝統楽器等	14
音楽会や音楽集会などの企画について	3
創作学習をどう行ったらよいか。(短時間でできる創作のアイデア、パソコンによる作曲)	29
リトミック、ボディーパーカッション、リズムあそび等	5
電子機器の扱いについて	2
短時間で効率よく曲を仕上げる方法	
完全実施後の感受の占める位置と役割について	
音楽療法	2
歌唱(合唱)指導について	28
鑑賞指導について	25
教科書教材の魅力	5
指揮法の講習を受けたい	7
指導に生かせる動画、動画編集	2
小中高一貫性のために、各校でできること(解説書理解と現場)	
マーチングの研修(ドラムメジャー・カラーガード)	4
器楽・音楽会合奏の具体的指導(アレンジ・使用楽器・楽器の扱い方等)	9
低学年の子ども、特に支援を必要とする子どもたちが、集中し喜んで取り組む指導のあり方	2
評価の仕方について	2
編曲の仕方(和声)	2
教科書以外で開発した題材を扱った授業を見学させていただきたい	
アナリーゼ	3
音楽著作権についての学習	
新学習指導要領実施について	4
学校間のネットワーク作り	
音楽授業の中での特別支援教育について	

(2) ご指導いただきたい講師(具体的にご氏名がわかればご記入ください)

大勢の先生の名前が出されていますが、個人情報に当たるため、割愛しました。どのような方が出されているのか知りたい方は、研究研修委員までお問い合わせください。